

建廃協NEWS 第20号

建設廃棄物協同組合 総務部会 広報委員会
編集 株式会社タケエイ 小嶋 努



車両系建設機械出張技能特例講習開催 H25年9月22日

平成25年9月22日（日）飯田橋レインボービルにおいて、車両系建設機械（整地用）技能講習修了者を対象とした第3種技能特例講習を、コマツ教習所株式会社の東京センターより講師を招き、出張講習会を開催しました。

～労働安全衛生規則の改定～

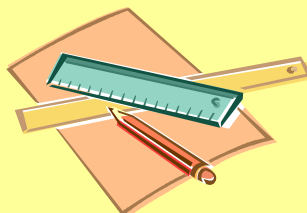
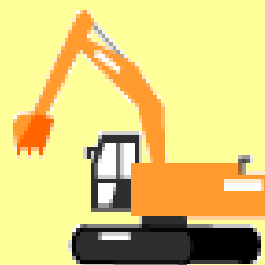
今年7月1日から「労働安全衛生規則」が改正され、「解体用つかみ機（いわゆるハサミ）」が新たに技能講習の対象となり、重機の運転業務に就く者は、経過措置期間（平成27年6月30日まで）に「技能特例講習」の受講が必要になりました。

「解体用つかみ機（いわゆるハサミ）」は組合員の施設でも多く使われており、受講者も多いことから休日を利用して一度に出来ないか教習所に相談したところ、今回の出張講習を快諾していただき、無事開催することができました。



～祝★全員合格～

講習会には62名が参加し、無事全員合格しました。





平成25年9月20日、社団法人日本建設業連合会（日建連）と
タイルカーペットのリサイクルを行っている「リファインバース株式会社 千葉工場」、
廃石膏ボードのリサイクルを行っている「株式会社ギフロ 八潮リサイクルセンター」、
廃畳等をRPF固形燃料化している「都築鋼産株式会社 埼玉リサイクル工場」
の3施設の合同施設視察会を行いました。

リファインバース株式会社 千葉工場

1件目のリファインバース(株)は、タイルカーペットの裏面の塩ビ層を切削という特殊な技術を使い、コンパウンドにすることにより再びタイルカーペットのバック材としてリサイクルする会社です。
平成23年10月には再生事業者登録も受け、昨年度は約1万5千トンの処理を行っています。



リファインバース(株)の概観視察の様子



(株)ギフロの概観
廃石膏ボードヤード



株式会社ギフロ 八潮リサイクルセンター

2件目の(株)ギフロは廃石膏ボードを破砕し、石膏と紙とに分け、石膏は吉野石膏に、紙は製紙会社にそれぞれ原料として出荷しています。
近年取扱量が安定しており、年間5万トン以上の廃石膏ボードを処理しています。



都築鋼産(株)の概観
視察の様子



都築鋼産株式会社 埼玉リサイクル工場

3件目の都築鋼産(株)は廃プラスチック類・紙くず・廃畳を破砕・減容して固形燃料化し、埼玉リサイクル工場生産されるRPFの全量を市原グリーン電力のバイオマス発電燃料として、売却しています。
同施設では太陽光発電システムも導入しており、工場内の電力の一部を太陽光発電で賄うという、環境に配慮した取り組みも積極的に行っていました。

